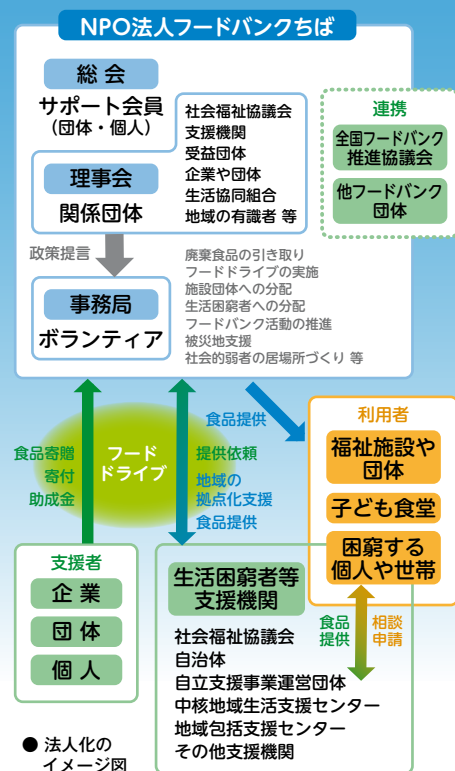


法人化を目指して運営検討会議を開催し、協議を重ねています。



フードバンクちばも設立から8年が経過し、多くの方々にご尽力いただき、県内での知名度も上がり、たくさんの食品ロスを受け入れ、その活用も増えています。一方で財政的な基盤は脆弱なままで、特に母体であるワーカーズコープちばの千葉市での事業が縮小したことなどを受けて、抜本的な運営方針を立て直すところに来ています。そこで、約4年ぶりに「運営検討会議」をあためて開催する運びとなりました。県内では他のフードバンク団体の活動も広がり、活動の担い手や利用者も多様化する中で、フードバンクちばの今後の方向性を考える時期に来ています。

運営検討会議には、千葉県社会福祉協議会、中核地域生活支援センター連絡協議会、生活困窮者自立支援機関、生活協同組合、子ども食堂、企業、研究者等、フードバンク活動にご協力いただいている様々な方々にご参加いただき、昨年5回の運営検討会議を開催。2020年度以降に向けて、以下の2つの方針を確認しました。今後も状況を見ながら、慎重に協議を重ね、新たな体制の構築に努めてまいります。

フードバンクちばの運営についてご意見やご進言等がございましたら、忌憚なくお聞かせ頂ければ幸いです。

大きな方向性

- ① 法人化を実現し、フードバンクちばの基本的財政を確立すると共に、県内の各関係団体・法人が協力して食のセーフティネットを構築する。
- ② 現在フードバンクちばが行っている事業（食品ロス削減・生活困窮者等支援）を発展させつつ、県内各地に移行・機能分散させていく。

フードバンクちば通信

フードバンクちば 〒260-0045 千葉市中央区緑弁天2-16-14大野マンション 101

Vol.23
2020年
7月発行



社会的混乱で増大する困窮者のニーズに応えられるようフードバンクも活動を続けます。

千葉県内のフードバンク団体（フードバンクふなばし・東葛草の根フードバンク）と連携し、感染症対策としていただいた食品を分配。それぞれの地域でニーズに合わせて有効に活用されています。

余ってませんか。もったいない食品大募集中!!

【ご家庭から】

家庭で余っている食品（保存可能な物）を募集しています。

寄付いただきたい食品

- 穀類（お米、麺類、小麦等）
- 保存食品（缶詰、瓶詰等）
- 乾物（のり・豆など）
- インスタント食品・レトルト食品
- 調味料各種、食用油
- ギフトパック（お歳暮・お中元等）
- 飲料（ジュース・コーヒー・お茶等）
- 菓子類



個人支援に利用させていただいている食品の一例

【企業等から】

包材の破損や賞味期限間近などにより、廃棄する予定の食品（賞味期限1カ月以上）等がございましたら、ぜひご寄贈ください。条件等は別途ご相談ください。

お問い合わせ

ボランティア活動に参加してみたいという方を随時募集しています。またフードバンク活動についての詳細などお気軽にお問い合わせください。

☎ **043-301-4025** 平日 10:00 ~ 17:00

☎ **043-301-4026**

※スタッフ不在の場合は留守番電話にメッセージをお伝えください。

✉ **fbchiba@jigyoudan.com**

🌐 **http://foodbank-chiba.com**

ブログ: **fbchiba.ko-me.com**

フードバンクちば

〒260-0045
千葉市中央区弁天2丁目16-14
大野マンション101



「フードバンクちばサポート会」入会のご案内

入会をご希望の方は、別途、入会申込書に必要事項を記入し、フードバンクちば宛に郵送またはFAXいただき、会費をご入金いただければ手続きは完了です。または郵便局の振込用紙の備考欄にお名前と連絡先を明記し、会費を下記口座にご入金ください。

- 会費
 - 個人サポート会員：1口2,000円/年(1口以上)
 - 法人・団体サポート会員：1口10,000円/年(1口以上)
- 会費納入先
 - 郵便振替口座
 - 口座番号：00160-8-486977
 - 口座名義：フードバンクちばサポート会
 - ゆうちょ以外からの振込先
 - 銀行名：ゆうちょ銀行
 - 種別：当座 支店名：〇一九店
 - 口座番号：0486977
 - 口座名義：フードバンクちばサポート会

<ご寄付のお願い>
フードバンクちばでは、皆様のご寄付や協賛金を受け付けております。ご協力には下記郵便振替口座をご利用下さい。

- 郵便振替口座
 - 口座番号：00150-2-652117 口座名義：フードバンクちば

CONTENTS

- ① フードバンクちばの移転からこれまでの状況を振り返ります。
- ② フードバンクちばと連携して、様々なフードドライブの取り組みが進んでいます。
- ③ 次々に起こる災害や感染症の拡大に対し、多くの支援を行いました。
- ④ 法人化を目指して運営検討会議を開催し、協議を重ねています。

現在の支援状況

2019年4月～2020年3月までに提供した食品

団体：約**20.5**トン
(のべ2316件)

個人：約**20.7**トン
(のべ2,091件)

内訳：お米・調味料・パスタ・そうめん・缶詰・菓子・飲料・災害備蓄品など

フードバンクちばの移転からこれまでの状況を振り返ります。

フードバンクちばは今年5月で設立8周年となりました。県内での知名度も上がり、利用も確実に増えています。2015年の生活困窮者自立支援制度開始以降、各地で困窮者支援としてのフードバンクのニーズが高まる一方で、財政的な基盤は脆弱なままで、規模の拡大に追いつけていません。そこで、昨年4月より「運営検討会議」（詳細は裏面をご覧ください）を立ち上げ、フードバンク活動を県内の関係機関全体で支えていく体制への移行について協議を続けています。8月の事務所移転で食品の受け入れや保管の面では大きな進展があったものの、その分、人的負担も大きくなっています。そこに来て、大型台風の千葉県直撃、そして新型コロナウィルスの感染拡大、非常事態宣言の発令とこれまでにない事態に見舞われ、フードバンクちばも様々な対応に追われて来ました。

今年4月には、フードバンク活動の担い手であるボランティアの方々から活動自粛をお願いせざるを得ない反面、困窮する世帯からの支援依頼は日に日に増え、一時は事業の継続自体が危うい状況になりかけましたが、配送の担い手不足という問題は、県内各地の支援機関が直接窓口での食品配布等にご協力くださり、フードバンクちばからの配送数を抑えることができました。また、たくさんの企業・団体、そして個人の方々よりこれまでにないご寄贈やご寄付をいただき、個人支援はもちろん、留学生をはじめとする災害時の支援等にも食品を事欠くことなく差し上げることができました。フードバンク活動は「現場で支援に関わっている方々」と「間接的に支えてくださる方々」の双方からのサポートで成り立っていることをつくづく実感いたしました。人の繋がりや温かさが、苦境を乗り越えて行く原動力なのだ、私たち自身も力をいただいています。幸い6月以降、ボランティア活動も感染防止に配慮しながら再開しつつあります。感染症対策の長期化は避けられない状況ではありますが、フードバンクちばとしては、今後も出来る限りの支援を続けていけるよう努力してまいります。なお、5、6月のフードドライブならびに8周年イベントは中止とさせていただきます。ご理解のほどお願い申し上げます。